

財團
協調會
福岡出張所

10、役員選舉（議長一任）

筑紫郡聯合會々々

長 城戸 龜雄

副會長

高原新三郎

主 事

山田 民造

會計監督

井上 藤造

同

大谷 幸太郎

評議員

平島 信太郎 外十五名

11、役員代表挨拶

12、閉 會

城戸 龜雄

13、萬歳三唱

散 會

高原新三郎

財團
協調會
福岡出張所

宣 言

似蘭舉國一致官僚岡田内閣出現して既に一年非常時の只中にある皇國の運命を双肩に擔ひて立ち乍ら徒らに弱体を曝露して局面の糊塗にのみ汲々として爲す所を知らず其の六十六救農臨時議會第六十七通常議會を通じて見らるる彼等の政策は既に大政黨への阿諛と戀々たる政權慾を一步も出でず農村關係重大法案を流産せしめて一部財閥の金權に屈し所謂元老と呼はるる一ブルジョア一權力の發使に甘んじて四十萬農民を飢餓線に追放し乍ら恬として恥づる所を知らず更に又國民の輿望により内閣審議會の設立を見るや亦舊政權財閥と結託して已が内閣の補助工作にのみ資して更に其の本來の使命たる根本國策を顧みざるに至れり、夫れ農は國の基にして未だ農すたれた國の富み榮へたるを知らず然らば國家非常時の急務たるや外、國防の完備と共に内、農民の生活苦の打開こそ眞の救國大公道たるへ